

植物化学調節学会第43回大会プログラム

日時：平成20年10月29日（水）、30日（木）

会場：（財）つくば都市振興財団「つくばカピオ」

〒305-0032 つくば市竹園 1-10-1、TEL 029(851)2886

ホームページ <http://tsukubacity.or.jp/info/modules/tinyd1/>

[プログラム]

10月29日（水）

- 9:00～10:00 受付・ポスター貼り付け
- 10:00～12:00 口頭発表 No. 1-26
- 12:00～13:30 昼食・評議員会
- 13:30～14:05 口頭発表 No. 27-33
- 14:05～14:50 特別講演 市村一雄（農研機構・花き研）
「エチレン感受性花きの老化機構とその制御」
- 14:50～15:05 休憩
- 15:05～15:50 総会・授賞式
- 15:50～16:15 受賞講演 学会賞 杉本 幸裕（神戸大院・農・生命機能科学）
「根寄生植物と宿主植物の相互作用に関する生物有機化学的研究」
- 16:15～16:40 受賞講演 学会賞 高橋 秀幸（東北大院・生命科学）
「オーキシシンによる植物の重力形態形成の制御機構に関する研究」
- 16:40～17:00 受賞講演 奨励賞 笠原 博幸（理研・植物科学センター）
「メチルエリスリトールリン酸（MEP）経路による植物ホルモンの生合成」
- 17:00～17:45 ポスター閲覧 No. 1-33
- 18:30～20:30 懇親会

10月30日（木）

- 9:00～ 9:15 受付
- 9:15～11:30 口頭発表 No. 34-63
- 11:30～13:00 昼食・編集員会
- 13:00～14:30 口頭発表 No. 64-82
- 14:30～15:30 ポスター閲覧 No. 34-82
- 15:30～15:45 ポスター賞表彰式・閉会挨拶
- 15:45～16:00 ポスター撤去

特別講演

10月29日(水) 14:05~14:50

「エチレン感受性花きの老化機構とその制御」

市村一雄(農研機構・花き研)

受賞講演

10月29日(水) 15:50~17:00

学会賞 「根寄生植物と宿主植物の相互作用に関する生物有機化学的研究」

杉本 幸裕(神戸大院・農・生命機能科学)

学会賞 「オーキシンによる植物の重力形態形成の制御機構に関する研究」

高橋 秀幸(東北大院・生命科学)

奨励賞 「メチルエリスリトールリン酸(MEP)経路による植物ホルモンの生合成」

笠原 博幸(理研・植物科学センター)

口頭発表 (演題および発表者)

10月29日(水) 10:00~12:00

01 地上部のリン濃度の上昇は植物のストリゴラクトン生産・分泌を抑制する

○米山 香織¹, 関本 均², 竹内 安智¹, 米山 弘一¹ (1宇都宮大・雑草科学, 2宇都宮大・農)

02 新規ストリゴラクトン *fabacyl acetate* の単離構造決定

○謝 肖男^{1,2}, 米山 香織¹, 原田 裕大¹, 伏木 紀雄¹, 山田 洋一³, 伊藤 智志⁴, 横田 孝雄⁵, 竹内 安智¹, 米山 弘一¹ (1宇都宮大・雑草科学, 2東京農工大・連合農学, 3宇都宮大・教育, 4宇都宮大・工, 5帝京大・バイオ)

03 ヒメツリガネゴケの生産するストリゴラクトンの解析

○謝 肖男^{1,2}, 米山 香織¹, 原田 裕大¹, 関根 めぐみ¹, 竹内 安智¹, 米山 弘一¹ (1宇都宮大・雑草科学, 2東京農工大・連合農学)

04 タマネギが生産するストリゴラクトンの探索

○原田 裕大¹, 謝 肖男^{1,2}, 米山 香織¹, 竹内 安智¹, 米山 弘一¹ (1宇都宮大・雑草科学, 2東京農工大・連合農学)

05 イネが生産・分泌するストリゴラクトン

○米山 香織¹, 謝 肖男^{1,2}, 原田 裕大¹, 松山 真弓¹, 関根 めぐみ¹, 竹内 安智¹, 米山 弘一¹ (1宇都宮大・雑草科学, 2東京農工大・連合農)

06 ストリゴラクトンによるシュート分枝抑制作用

○梅原 三貴久¹, 花田 篤志¹, 吉田 聡子¹, 秋山 康紀², 有手 友嗣³, 武田(神谷) 紀子¹, 真籠 洋¹, 神谷 勇治¹, 白須 賢¹, 米山 弘一⁴, 経塚 淳子³, 山口 信次郎¹ (1理化学研究所・植物科学研究センター, 2大阪府立大学・生命環境科学研究科, 3東京大学・農学生命科学研究科, 4宇都宮大学・雑草科学研究センター)

07 ストリゴラクトン(MAX因子)生合成阻害剤の探索

○伊藤 晋作¹, 加藤 敦隆¹, 花田 篤志², 米山 香織³, 北畑 信隆¹, 梅原 三喜久², 鈴木 義人¹, 米山 弘一³, 山口 信次郎², 浅見 忠男¹ (1東大院・農生科・応生化, 2理化学研究所・植物科学研究センター, 3宇都宮大学雑草科学研究センター)

08 ストリゴラクトン基本骨格の簡易合成法

○上野 琴巳 1, 伊藤 晋作 1, 経塚 淳子 2, 浅見 忠男 1 (1 東大院・農生科・応生化, 2 東大・農生科・生環生)

09 ストリゴラクトンの水中での不活性化過程における分解産物の同定

○秋山 康紀, 伊藤 誠祐, 林 英雄 (大阪府大院・生命環境・応用生命科学)

10 根寄生植物種子発芽刺激活性に対するストライゴラクトン B 環修飾の効果

○福富 達也 1, 田中 彩 1, 滝川 浩郷 1, 佐々木 満 1, 村中 聡 2, 杉本 幸裕 1 (1 神戸大院・農・生命機能科学, 2 国際熱帯農業研究所)

11 根寄生植物 *Striga hermonthica* および *Orobancha minor* の種子発芽過程におけるエチレンの関与の解析

○澤田 竜太郎, 山内 靖雄, 杉本 幸裕 (神戸大院・農・生命機能科学)

12 根寄生植物に対するミヤコグサの応答の分子解析

○土井 智子 1, 植田 浩章 1, 太田 早矢香 2, 平岡 幸浩 1, 杉本 幸裕 1,2 (1 神戸大院・農・生命機能科学, 2 神戸大・農)

13 ストライガの接触によるミヤコグサでのファイトアレキシン生合成の誘導

○植田 浩章 1, 向井 郁絵 2, 平岡 幸浩 1, 杉本 幸裕 1,2 (1 神戸大院・農・生命機能科学, 2 神戸大・農)

14 イネのファイトアレキシン生産におけるジャスモン酸の機能 – ジャスモン酸生合成変異体 *cpm2* を用いた解析 –

○清水 崇史 1, 岡田 敦 1, 軸丸 裕介 1, 芳賀 健 2, 飯野 盛利 2, 長村 吉晃 3, 澁谷 直人 4, 岡田 憲典 1, 野尻 秀昭 1, 山根 久和 1 (1 東大・生物生産工学研究センター, 2 大阪市立大・理学部・植物園, 3 農業生物資源研究所, 4 明治大・農学部)

15 イネ 2 番染色体に存在するファイトアレキシン生合成遺伝子クラスター

○蓑田 裕美 1, 岡田 敦 1, 岡田 憲典 1, 澁谷 直人 2, 古賀 仁一郎 3, 野尻 秀昭 1, 山根 久和 1 (1 東京大学・生物生産工学研究センター, 2 明治大学・農学部, 3 明治製菓)

16 イネのジテルペン型ファイトアレキシン、モミラクトン類生合成酵素遺伝子発現制御への *bZIP* 型転写因子 *OsTGA1* の関与

○岡田 敦 1, 岡田 憲典 1, 澁谷 直人 2, 古賀 仁一郎 3, 野尻 秀昭 1, 山根 久和 1 (1 東大・生物生産工学研究センター, 2 明大・農学部, 3 明治製菓)

17 イネの *WRKY* 型転写因子遺伝子 *OsWRKY53* のエリシターによる発現誘導機構

○増田 優花 1, 中条 哲也 1, 杉岡 奈帆 2, 澁谷 直人 3, 竹村 哲雄 2, 岡田 憲典 1, 野尻 秀昭 1, 山根 久和 1 (1 東京大学生物生産工学研究センター, 2 東京理科大・理, 3 明治大・農・生命科学)

18 コムギにおける環状ジテルペン生合成について

○臼井 雅美 1, 加賀原 拓真 1, 廣瀬 祐子 1, 阿部 志保 1, 岡田 憲典 2, 古賀 仁一郎 3, 三橋 渉 1, 山根 久和 2, 豊増 知伸 1 (1 山形大学・農学部・生物資源, 2 東京大学・生物生産工学研究センター, 3 明治製菓食糧健康総合研究所)

19 様々な完全 C-13 標識テルペノイド合成を可能とするマルチ酵素カクテルの調製と NMR 解析

○菅井 佳宣, 向井 紳一郎, 田中 慧太, 夏目 雅裕, 川出 洋 (東京農工大学院・生命農学)

20 蘚苔類バイファンクショナル型 ent-カウレン合成酵素の環化触媒反応に関与するアミノ酸の同定

○川那部 亮¹, 林 謙一郎², 野崎 浩², 夏目 雅裕¹, 川出 洋¹ (1 東京農工大大学院・生命農学, 2 岡山理科大学・理学)

21 イネ科植物における病原菌の感染によるセロトニン合成の活性化

○中尾 崇人¹, 石原 亨¹, 宮川 恒¹, 若狭 暁² (1 京都大院・農・応生科, 2 東農大・農・農)

22 シロイヌナズナにおけるヒートショック処理による病害抵抗性誘導機構の解析

○草島 美幸^{1,2}, 安田 美智子¹, 佐藤 達雄², 中島 雅己², 阿久津 克己², 仲下 英雄¹ (1 理研・基幹研, 2 茨城大・農)

23 環境ストレス応答と全身獲得抵抗性誘導の相互抑制的なクロストークに関わる因子の解析

○安田 美智子¹, 丸山 明子², 仲下 英雄¹ (1 理研・基幹研, 2 福井県立大・生物資源)

24 ストレス応答花成とフェニルアラニンアンモニアリアーゼで制御される代謝系

○和田 楓¹, 竹能 清俊^{1,2} (1 新潟大院・自然科学, 2 新潟大・理・生物)

25 植物におけるトレハロースの新機能:トレハロースはイネの防御応答を活性化する

○島 周平^{1,2,3}, 加藤 英樹¹, 安田 美智子³, 仲下 英雄³, 佐々木 健太郎¹, 松井 博和², 今井 亮三^{1,2} (1 農研機構・北農研, 2 北大院農, 3 理研・基幹研)

26 植物に環境ストレス耐性を付与するタンパク質 RSOsPR10 の発現制御機構の解析

○石井 紀子¹, 仲島 夕貴¹, 大田 幸士², 長谷川 久和², 寺川 輝彦², 小柴 共一¹ (1 首都大院・理工・生命科学, 2 北興化学開発研)

10月29日(水) 13:30~14:05

27 レタスの LsGA3ox1 欠損突然変異体の特徴付け

○梅津 麻実¹, 澤田 義昭¹, Mazier Marianne², 三橋 渉¹, 豊増 知伸¹ (1 山形大・農学部・生物資源, 2 Unite de Genetique et d Amelioration des Fruits et Legumes, INRA)

28 新規イネジベレリン 2-酸化酵素 OsGA2ox7 の遺伝子発現部位とその基質特異性の解析

○中村 英光^{1,2}, 朴 昇¹, 田切 明美², 岡田 恵子², 羽方 誠², 土岐 精一², 中嶋 正敏¹, 鈴木 義人¹, 浅見 忠男¹, 市川 裕章² (1 東大院・農生科・応生化, 2 農業生物資源研究所)

29 シロイヌナズナの高塩ストレス時における不活性化酵素遺伝子によるジベレリン量調節

○真籠 洋^{1,2}, 山口 信次郎¹, 花田 篤志¹, 神谷 勇治¹, 小田 賢司² (1 理研・植物科学研究センター, 2 岡山県生物科学総合研究所)

30 ジベレリン受容体解析プローブの創製:ジベレリン誘導体の調製と受容体結合性に関する構造活性相関

○早瀬 大貴¹, 中嶋 正敏¹, 瀬戸 秀春², 渡邊 秀典¹, 辻本 雅文², 山口 五十磨³, 浅見 忠男¹ (1 東大院・農生化・応生化, 2 理研・中央研, 3 前橋工科大)

31 抗活性型ジベレリン抗体の抗メタタイプペプチドの解析

○稲葉 絢子¹, 中村 周吾², 清水 謙多郎², 浅見 忠男¹, 鈴木 義人¹ (1 東大院・農生科・応生化, 2 東大院・農生科・応生工)

32 新奇ジベレリン信号伝達因子 GAF1 の機能解析

○深澤 壽太郎¹, 村越 悟², 寺村 浩², 那須野 慶², 西田 尚敬², 吉田 充輝², 神谷 勇治¹,

高橋 陽介 3, 山口 信次郎 1 (1 理研・植物科学研究センター, 2 東理大・基礎工・生物工, 3 広島大・理・生物科学)

3 3 コムギの深播き耐性機構：ジベレリンによる第一節間伸長促進に必要な表皮の細胞伸長と皮層の細胞増殖

○加藤 文恵 1, 宮沢 豊 1, 荒木 優 1, 藤井 伸治 1, 菅 洋 1, 武田 和義 2, 高橋 秀幸 1 (1 東北大・院・生命科学, 2 岡山大・資生研)

10月30日(木) 9:15~11:30

3 4 ブラシノステロイド情報伝達突然変異体 *bil5* の原因遺伝子の機能解析

○中野 雄司 1,5, 山上 あゆみ 1, 辻本 雅文 3, Joanne Chory 2, 浅見 忠男 4 (1 理化学研究所・基幹研究所・植物化学生物学研究ユニット, 2 Salk Inst., 3 理研・基幹研, 4 東大・農学生命, 5 JST-さきがけ)

3 5 ブラシノステロイド情報伝達突然変異体 *bil4* の原因遺伝子の局在および *bil3* の機能解析

○山上 あゆみ 1,2, 中野 雄司 1, 吉澤 江里子 1, 斎藤 知恵子 3, 中澤 美紀 4, 松井 南 4, 作田 正明 2, 中野 明彦 3, 辻本 雅文 3, 浅見 忠男 3,5 (1 理研・植物化学生物学研究ユニット, 2 お茶大院・人間環境科学, 3 理研・基幹研, 4 理研・PSC, 5 東大院・農生科)

3 6 ブラシノステロイド情報伝達突然変異体 *bpg2*, *bss1* の原因遺伝子の葉緑体制御・発生制御における機能の解析

○小松 知之 1,2, 中野 雄司 1, 中澤 美紀 3, 松井 南 3, 斎藤 知恵子 1, 中野 明彦 1, 川出 洋 2, 夏目 雅裕 2, 安部 浩 2, 辻本 雅文 1, 浅見 忠男 1,4 (1 理化学研究所 基幹研, 2 東京農工大学大学院, 3 理研 PSC, 4 東京大学 農学生命科学研究科)

3 7 ブラシノステロイド情報伝達突然変異体 *bil2*, *bil5* サプレッサーの解析

○嶋田 勢津子 1, 中野 雄司 1, 中澤 美紀 2, 松井 南 2, 辻本 雅文 3, 浅見 忠雄 3,4 (1 理化学研究所・基幹研・植物化学生物学研究ユニット, 2 理化学研究所・PSC, 3 理化学研究所・基幹研, 4 東京大学・農学生命科学研究科)

3 8 bHLH 型タンパク質をコードするイネのブラシノステロイド誘導性遺伝子の解析

○田中 惇訓 1,2, 大武 美樹 1, Joseph G. Dubouzet 1, 中川 仁 1, 浅見 忠男 3, 鎌倉 高志 2, 森 昌樹 1 (1 農業生物資源研究所, 2 東理大院・理工, 3 東大院・農生科)

3 9 イネ由来ブラシノステロイド不活性化酵素の酵素化学的解析

○川邊 綾美 1, 清水 文一 1, 嶋田 幸久 2, 藤岡 昭三 3, 坂本 知昭 4, 水谷 正治 1 (1 京都大・化研, 2 理研・PSC, 3 理研・中央研, 4 名大・高等研究所)

4 0 サツマイモにおけるクマリン化合物の生合成と桂皮酸類オルト位水酸化酵素遺伝子のクローニング

○松本 征太郎, 山本 亮太郎, 水谷 正治, 清水 文一 (京大・化学研究所)

4 1 Imazamethabenz methyl 処理が花器官形成に与える影響

○島田 淳巳 (別府大学食物栄養科学部)

4 2 ペチュニア花卉の覆輪模様を変化させるピリミジン系薬剤の性質

○伴 雄介, 中山 真義 (農研機構・花き研)

4 3 メキシコマンネングサ中のカルボン酸産生量の定量による生育状態の診断 III

○手塚 朋洋 1, 富田 洋介 2, 飯島 健太郎 3, 斎藤 潔 4 (1 桐蔭横浜大院工・医用工, 2 桐蔭横浜

大院工、医用工, 3 桐蔭横浜大院工、医用工, 4 桐蔭横浜大院工、医用工)

4 4 全量基肥法と接触刺激の併用処理がブロッコリーセル苗の生育に及ぼす影響

○鎌田 淳, 江村 薫 (埼玉県農林総合研究センター水田農業研究所)

4 5 塩ストレス下におけるヒマワリ (*Helianthus annuus* L.) 幼苗の根の生理活性に対する 5-アミノレブリン酸 (ALA) の作用

○渡辺 圭太郎 1, 船田 茂行 1, 田中 徹 2, 竹内 安智 3 (1 コスモ石油, 2SBI アラプロモ, 3 宇都宮大学)

4 6 カイワレダイコン内在性 5-アミノレブリン酸(ALA)蓄積条件の検討

○船田 茂行 1, 小堀 寿浩 1, 藤田 峰斎 1, 堂田 正彦 1, 渡辺 圭太郎 1, 竹内 安智 2 (1 コスモ石油, 2 宇都宮大学)

4 7 ジベレリンおよびジベレリン生合成阻害剤処理によるネギの分げつ発生の制御

○山崎 博子, 矢野 孝喜, 長菅 香織, 稲本 勝彦, 山崎 篤 (農研機構・東北農研)

4 8 ナシ果実の発育に伴う果肉および種子におけるジベレリン代謝酵素遺伝子の発現解析と新規果実肥大促進方法の開発

○板井 章浩 1, 金城 慶一 1, 久富 哲也 1, 千郷 峻弘 1, 田辺 賢二 1, 本田 久志 2 (1 鳥取大・農学部, 2 クミアイ化学工業 (株))

4 9 ニホンナシにおける自家摘果性機構の解析

○山口 郁子 1, 藤岡 昭三 2, 北畑 信隆 2,3, 高田 教臣 1, 寺上 伸吾 1, 金 會澤 1, 保坂 ふみ子 1, 辻本 雅文 2, 澤村 豊 1, 齋藤 寿広 1, 松山 知樹 2, 浅見 忠男 2,3, 中野 雄司 2, 山本 俊哉 1 (1 果樹研究所 果樹ゲノム研究チーム, 2 理化学研究所 中央研究所, 3 東京大学 農学生命科学研究科)

5 0 1-ナフタレン酢酸ナトリウムの温州みかんに対する摘果効果について

○美野光哉、宇佐美進、朝長昌裕、高石文雄、野口孝敏、西竹信博、高橋和寛、安藤元洋、安藤弘幸、江口國安、臼井琢磨、小笠原致道、中山貴史、武木田幸典、内藤遵、栗山博道 (アグロカネショウ株式会社)

5 1 cDNA サブトラクション法による光学活性なウレア系化合物処理におけるコムギ根端発現遺伝子の探索

○小島 久弘 1,2, 但木 亮太 1, 人見 賢徳 3, 重川 弘宜 1 (1 宇都宮大・雑草科学研究センター, 2 東農工大院・連農, 3 宇都宮大学・農)

5 2 ABA アミノ酸複合体の生物活性

○村松 卓 1, 水谷 正治 2, 轟 泰司 1 (1 静大農, 2 京大化研)

5 3 ABA 代謝物質ファゼイン酸の還元酵素の性質

○藤井 佑典 1, 近藤 悟 2, 水谷 正治 3, 轟 泰司 4, 平井 伸博 1 (1 京都大学大学院農学研究科, 2 千葉大学園芸学部, 3 京都大学化学研究所, 4 静岡大学農学部)

5 4 配座固定とアゾール環修飾による高選択性アゾール系植物 P450 阻害剤の創製

○白倉 美奈穂 1, 小林 亨太郎 1, 青山 光 2, 平松 佐織 1, 水谷 正治 3, 平井 伸博 4, 轟 泰司 2 (1 静大院農, 2 静大農, 3 京大化研, 4 京大院農)

5 5 クリック反応を利用した高選択性アゾール系 P450 阻害剤の創製と探索

○平松 佐織 1, 白倉 美奈穂 1, 水谷 正治 2, 平井 伸博 3, 轟 泰司 4 (1 静大院農, 2 京大化研, 3 京大院農, 4 静大農)

5 6 ダイズさやに含まれる老化促進因子

○阿部 美穂子 1, 松野 純子 2, 橋本 勝 1, 幸田 泰則 2, 高田 晃 1 (1 弘前大農生, 2 北大院農)

5 7 ジャスモン酸誘導体の抽だい抑制効果

○脇田 枝里子 1, 山崎 絵麻 1, 阿部 美穂子 1, 橋本 勝 1, 幸田 泰則 2, 高田 晃 1 (1 弘前大学農学生命科学部, 2 北海道大学大学院農学研究院)

5 8 ムスカリ (*Muscari armeniacum*) におけるガム物質の形成制御およびその化学組成

○宮本 健助 1,2, 笹本 真季子 3, Saniewski Marian 4, 上田 純一 2 (1 大阪府立大学・総合教育研究機構・生物, 2 大阪府立大学大学院・理学系研究科・生物科学, 3 大阪女子大学・理学部・環境理学, 4 ポーランド国立果樹学・花卉学研究所)

5 9 被食誘導遺伝子の発現制御に関与するシロイヌナズナ calcium-dependent protein kinase

○有村 源一郎 1,2, Chidananda Nagamangala Kanchiswamy 1,2,3, 高橋 宏隆 4, Massimo Maffei 3, Wilhelm Boland 5, 澤崎 達也 4 (1 京都大・理学研究科・グローバル COE プログラム, 2 京都大・生態学研究センター, 3 Dept. of Plant Biol. and Cent. of Excellence CEBIOVEM, Univ. of Turin, Italy, 4 愛媛大・無細胞生命科学工学研究センター, 5 Max Planck Inst. for Chem. Ecol., Germany)

6 0 アブラムシの天敵を誘引する植物の揮発性物質生産の分子機構

○竹本 裕之 1, Wilf Powell 2, John Pickett 2, 高林 純示 1 (1 京都大学生態学研究センター, 2 Rothamsted Research)

6 1 ミコナゾールはアレンオキシド合成酵素を阻害する

○王 敬銘, 関 裕介, 吉澤 結子, 室伏 旭 (秋田県立大学 生物資源)

6 2 ツベロン酸グルコシルトランスフェラーゼの精製とその生理的作用に関する研究

○瀬戸 義哉, 浜田 茂樹, 松浦 英幸, 松重 真奈, 佐藤 千鶴, 高橋 公咲, 増田 税, 伊藤 浩之, 松井 博和, 鍋田 憲助 (北海道大学大学院・農学院)

6 3 傷害応答時におけるジャスモン酸の代謝および移動に関する研究

○佐藤 千鶴, 瀬戸 義哉, 松重 真奈, 葵 新, 鍋田 憲助, 松浦 英幸 (北大院・農)

10月30日(木) 13:00~14:30

6 4 シロイヌナズナにおける 9-hydroxy-10-oxo-12(Z),15(Z)-octadecadienoic acid

(KODA) 生合成遺伝子 LOX の機能解析

○綾野 まどか 1, 渡辺 修治 2, 村田 有明 2, 中嶋 直子 3, 生駒 吉識 3, 嶋田 幸久 1, 吉田 茂男 1 (1 理研・PSC, 2 静大・創造, 3 農研機構・果樹研)

6 5 新型オキシリピン [9-hydroxy-10-oxo-12(Z),15(Z)-octadecadienoic acid (KODA)] の花成促進効果の特徴

○横山 峰幸 1, 伊福 欧二 1, 梁木 利男 2, 吉田 茂男 3 (1 資生堂・新領域研セ, 2 資生堂・食品研セ, 3 理研・PSC)

6 6 植物毒素コロナチンの合成と植物気孔開口誘導活性

○岡田 正弘, 伊藤 智子, 松原 輝, 上田 実 (東北大学院・理学・化学)

6 7 LC-ESI-MS/MS によるジャスモン酸誘導体一斉分析法の確立

○軸丸 裕介, 花田 篤志, 杉山 真樹, 笠原 博幸, 瀬尾 光範, 山口 信次郎, 神谷 勇治 (理化学

研究所 植物科学研究センター)

6 8 寄生植物ヤセウツボ種子の発芽過程における特徴的な窒素代謝

○岡澤 敦司¹, Benesh Joseph¹, 福崎 英一郎¹, 米山 弘一², 竹内 安智², 小林 昭雄¹ (1 阪大院・工・生命先端工, 2 宇都宮大・雑草科学研)

6 9 シアナミド生合成における窒素原子および炭素原子の由来

○阿部 俊¹, 加茂 綱嗣², 廣田 満¹, 平館 俊太郎², 山谷 紘子², 藤井 義晴² (1 信州大農学部, 2 農業環境技術研究所)

7 0 植物の一生に及ぼすアレロパシー活性を検定するライフサイクルアセスメント (LCA 法) の開発と DNA マイクロアレイによる影響の解析

○藤井 義晴, 平館 俊太郎, 加茂 綱嗣, ゴリッシュ アンナ, 菅野 真実 (農業環境技術研究所)

7 1 ヨモギ属植物のテルペンプロファイル及びテルペン環化酵素遺伝子の比較解析

○鈴木 宗典^{1,2}, 關 光^{1,2}, 下村 昌也¹, 小森 彩^{1,3}, 西澤 具子¹, 南雲 清二⁴, 高上馬 希重⁵, 村中 俊哉^{1,2} (1 横浜市立大学・木原生研, 2 理研・PSC, 3 日本女子大・理学研究科, 4 星薬科大学・薬学部, 5 北海道医療大学・薬学部)

7 2 トマトにおけるメラトニンの蓄積機構と生合成経路の解析

○岡崎 正晃, 樋口 賢二, 江面 浩 (筑波大院・生命環境)

7 3 シロイヌナズナ特異的な新規オーキシン生合成経路の解析

○菅原 聡子^{1,2}, 菱山 正二郎³, 軸丸 裕介¹, 花田 篤志¹, 西村 岳志², 小柴 共一², Yunde Zhao⁴, 神谷 勇治¹, 笠原 博幸¹ (1 理研・植物科学センター, 2 首都大院・理工・生命科学, 3 森林総合研究所, 4 Section of Cell & Dev. Biol., UCSD)

7 4 トウモロコシ幼葉鞘先端における indole-3-acetic acid 合成に影響を与える化合物のケミカルスクリーニング

柿沼 千江子⁴, ○須藤 亜衣¹, 中島 桃代¹, 西村 岳志⁴, 駒野 照弥⁴, 久保 稔², 長谷部 光泰², 笠原 博幸³, 神谷 勇治³, 小柴 共一⁴ (1 首都大・都市教養学部・理工学系・生命科学, 2 基生研・進化多様性, 3 理研・植物科学センター, 4 首都大院・理工学研究科・生命科学専攻)

7 5 IAA の酸化および抱合体化に関する植物種間差

○中村 俊介¹, 松田 洋子², 甲斐 建次¹, 宮川 恒¹ (1 京大院・農・応用生命, 2 京大・農・応用生命)

7 6 オーキシン不活性化を阻害する安定な化学的ツール

-IAA-アミノ酸複合体合成酵素 (GH3) 阻害剤の阻害活性-

○内藤 喜之, 竹内 良徳, 清水 文一, 平竹 潤, 水谷 正治 (京大・化研)

7 7 トウモロコシ幼葉鞘先端から ZmPIN によって輸送される IAA が重力屈曲に必要である

○西村 岳志, 中野 仁美, 丹羽 理陽, 小柴 共一 (首都大院・理工学研究科・生命科学専攻)

7 8 キュウリ芽生えの重力形態形成に伴う IAA 動態変化の解析

○渡辺 千秋, 藤井 伸治, 宮沢 豊, 高橋 秀幸 (東北大・院・生命科学)

7 9 キュウリの芽ばえのペグ形成領域で発現する PIN オーキシン排出キャリア相同遺伝子の同定と局在解析

○藤井 伸治, 矢内 健一, 堀田 拓哉, 渡辺 千秋, 宮沢 豊, 高橋 秀幸 (東北大・院・生命科学)

8 0 新規オーキシン極性輸送阻害剤の合成と活性

○津田 悦子 1, 林 謙一郎 1, 古谷 将彦 2, 田坂 昌生 2, 野崎 浩 1 (1 岡山理科大学・生物化学科, 2 奈良先端大・バイオサイエンス)

8 1 新規オーキシン受容体阻害剤の分子設計と合成

林 謙一郎 1, ○幡手 達也 1, Stefan Kepinski², 野崎 浩 1 (1 岡山理科大学・生物化学科, 2LEEDS 大・植物科学センター)

8 2 シロイヌナズナ切断花茎の組織癒合にはオーキシンとエチレンのシグナリングが必要である

○朝比奈 雅志 1,2, 山崎 貴司 1, 東 克也 1, 山口 信次郎 2, 神谷 勇治 2, 森田 美代 3, 田坂 昌生 3, 鎌田 博 1, 佐藤 忍 1 (1 筑波大・生命環境, 2 理研・植物科学研究センター, 3 奈良先端大・バイオサイエンス)